

日刊

THE NIKKAN

工業

KOGYO SHIMBUN

新聞

11月21日火曜日

2017年(平成29年)

引き合い活発

ハーモテックは、アルミ箔のように薄い半導体ウエハーを搬送するハンド部分の製造がコア技術。手で持ったら即座にたわんでしまうようなペラペラのウエハーを、独特の吸着機構で搬送する技に定評がある。メモリーの高機能化など薄ウエハーの多層化に伴い、半導体装置・半導体メーカーからの引き合いが活発だ。

ハーモテック

成長企業チカラの源泉

極薄ウエハーを保持・搬送

息づく機能

同社の前身は、岩坂社長の父親が起した半導体ウエハーの裏面加工を担う会社(現アポロ電子)。日本で、テレホンカードに初めてICチップが埋め込まれる経緯においてウエハー処

理の裏方を担った経歴を持つ。当時の処理ウエハーが、6センチ(60ミリ)マイク口は100万分の1」という最先端の薄さだった。こうした中で生まれたウエハーのハンドリング需要が、KUMADEの機能に息づく。現在、同社が対応する半導体ウエハーには最薄で15ミリの厚さのものも現れ始めた。国内では、パワートランジスタ向けでは、業界内で相当の知名度がある。一



極薄ウエハー搬送用ハンド「KUMADE」



社長 岩坂 斉氏

「何でもできるのが基本にも使われ」

スタンス。研究開発や知財保護を最重視。小所帯だが、全員参加の「わいがや」で製品開発する。多方面の情報に基づく課題解決力が当社技術の本質」と岩坂社長は強調する。

食品に照準

次なる照準は食品搬送工程。現在、のりや唐揚げ、サクなどの対象物搬送に取り組んでおり「年内には同分野で第一号製品を完成」(同)の見込みだ。

(敬称略、諏訪支局長・岡部正広)

【企業プロフィール】

▽所在地 甲府市住吉4の1の32▽社長 岩坂斉氏▽設立 82年(昭57) 3月▽売上高 13億2000万円(17年7月期)

(火曜日に掲載)

“わいがや”で課題解決

モノづくり基盤・成長企業